

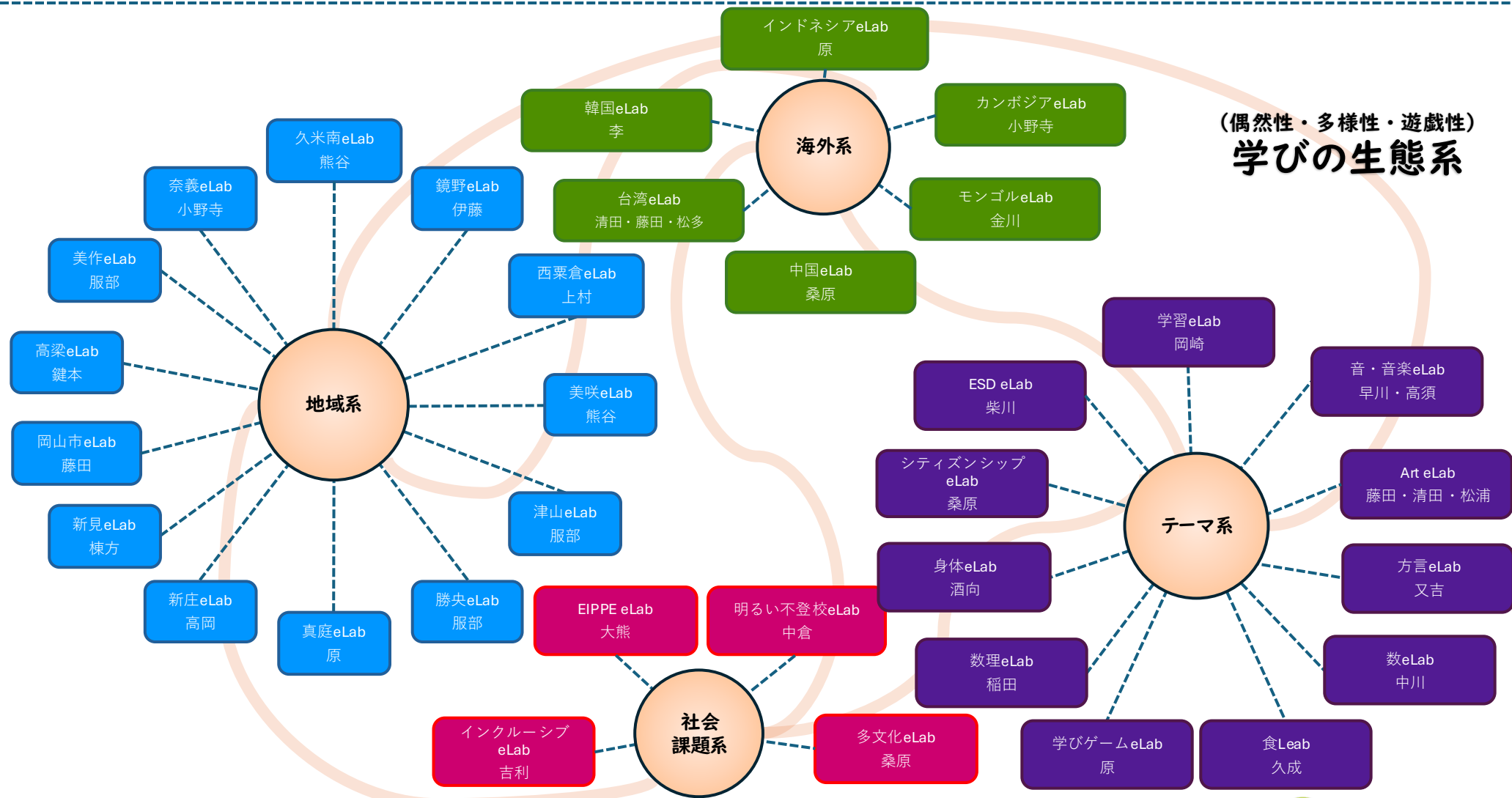
岡大Playful eLab (仮)

教員駆動型でも学生駆動型でもないハイブリッド型のLab
ワクワクする内容を好きな人が好きなだけ活動する

Background

社会：未知の状況中で、好きなことを追求し探求するコンピテンシーが必要。子ども達の放課後・探究のReデザイン。
→新しい学びと教育の場のモデル開発・実践場+「未来の学びの場」を社会実装することが要請されている。
岡大：授業やカリキュラムが多く、好きなことを探求する時間の減少。教員主導のイベント多。学年の分断。

(偶然性・多様性・遊戯性) 学びの生態系



Labとは、多様な参加者が、自分の「好き」、「面白い」、「課題」を持ち込み、共感者とラボを形成し、夢中になって、創造的な探究・研究開発をした結果、成果が社会に実装され、社会を変えていく可能性を秘めたもの。
※多様な参加者とは、学生・院生・教員・地域住民・関心を持っている人全て。基本的な運用は大学教員がファシリテーターとして入る。

岡大Playful eLab^(仮) 構想

地域・社会・個人のWell-being

